

選択基準

- ・ 52 週 (364 日) ~ 6 週 (42 日) 発症
- ・ 少数視力 0.1 以上、0.4 以下
- ・ 20 歳以上 80 歳未満
- ・ 黄斑部中心窩中心点網膜厚 (center) が OCT で 350 μm 以上

禁止薬

- 点眼剤
 - ・ ステロイド点眼剤 (対象眼)
 - ・ NSAID 点眼剤 (対象眼)
 - ・ 抗 VEGF 製剤 (対象眼)
 - ・ 免疫抑制剤 (対象眼)
 - ・ 炭酸脱水素酵素阻害剤 (対象眼)
- 内服・その他
 - ・ 炭酸脱水素酵素阻害剤
 - ・ ワルファリン、ヘパリン
 - ・ 全身性ステロイド製剤
 - ・ 免疫抑制剤、免疫調節剤、代謝拮抗物質、アルキル化剤

禁止療法

- ・ 硝子体手術の既往
- ・ 硝子体内の薬剤投与の既往
- ・ ステロイドをテノン嚢下あるいは結膜下に投与 (26 週以内)
- ・ 13 週以内の白内障手術、レーザー治療
- ・ 13 週以内の血液希釈療法 (網膜血管閉塞の治療のため)

除外基準

- 全身疾患
 - ・ デキサメタゾン・PLGA・フルオレセインに対するアレルギー
 - ・ 癌
 - ・ 重篤な心疾患・腎疾患・肝疾患
- 眼疾患
 1. 無水晶体眼
 2. 前房眼内レンズ
 3. 検査困難な透光体混濁
 4. ヘルペス性眼感染 (既往も)
 5. 活動性眼感染症

.....

 6. 糖尿病網膜症
 7. トキソプラズマ症
 8. 中心性漿液性脈絡網膜症 (既往も)
 9. BRVO 以外の黄斑浮腫の原因となる疾患 (CRVO, ブドウ膜炎等)
 10. 黄斑上膜が黄斑浮腫の主原因
 11. 活動性の血管新生 (脈絡膜は既往も)
 12. 強膜の菲薄化又は拡張の存在

.....

 13. ステロイドで眼圧上昇の既往 (10mmHg 以上上昇)
 14. ステロイドで 25mmHg 以上上昇の既往
 15. 2 剤以上の緑内障治療剤 (1 剤は可) (合剤も 2 剤以上となります)
 16. 4 週以内の緑内障治療剤の変更
 17. 眼圧が 21mmHg 以上 (スクリーニング時)